

# ジョイント分散型障害者就労マッチング

共同受注システムを活用した障害者の所得向上計画

川崎市高津区東野川  
ノーティス株式会社  
代表取締役 矢口 大輔  
川崎市高津区久地  
NPO 法人 ACT-R  
代表理事 米田高志

## 1. はじめに

全国の障害者就労継続支援 B 型施設では、その福祉サービスを利用する障害者の月額所得が平均 15,000 円(時給にして 150 円)前後とされています。私達はその個人のライフプランにおける「お金」にフォーカスするのではなくて、働きたい就労意欲はあるのに選択肢が少ない現状を変化させ、仕事の創出、マッチング機会を増加させます。平等に、「働くこと」「働く喜びの実感」「働く中での成長(失敗)機会」が得られる社会環境作りを目指します。実現する社会環境から、個々の就労意欲と意思決定、強みが引き出され、結果として所得が向上する未来へと結びます。

## 2. 事例や取組みの紹介

まず、2018 年 5 月、川崎市高津区内に障害者が起業家やビジネスマンを支援するコワーキングカフェ「ビジネスステーション・トゥーリズム」を地域の NPO 法人(ACT-R)とジョイントベンチャーとなり、開設しました。地域のビジネスマンや企業を目指す方に障害者がサポーターとなって交流をとったり、ビジネスマインドの熱を行き交わしたりする場所として作りしました。フラットカフェに立ち寄ったビジネスマンが、障害者の接客や調理で出てくるコーヒーや飲食物を味わい、同時に「これコピーしてもらえる？」等と印刷や梱包などの仕事を頼まれる場となります。

次に、2019 年 6 月、上記のジョイントベンチャーを拠点として、神奈川県内 7 カ所(現時点)の障害者就労支援施設をサテライト作業場とした仕事の共同受注プロジェクトを立ち上げました。シンプルな作業内容であるアッセンブリー・軽作業を共同受注し、仕事を分散化して対応力を増やしています。単純作業を分散させて提示しているので、各事業所ならびに個々はその仕事を選択して携わることができます。同一作業所内のユニットチームや、事業所を隔てた作業所のメンバーと一つの案件を完了させることができます。携わる障害者の所得は、実績として時給換算 350 円前後を実現しています。エリアでは、遠方からの(関西は大阪等)仕事依頼もありました。

## 3. 考察

地域の同種の福祉施設が競合するのではなく連携する。連携した共同体として動くことで機会喪失(ボリューム・納期・品質・事務管理・営業活動・法人契約等に依る)していた経済価値＝所得向上につながります。福祉事業者が個別に営業活動を行っている現状を変え、役割分担や共同作業を行うことでこれを実現します。作業内容はシンプルなアッセンブリー作業で、地域に存在する就労意欲を持つ障害者がステップとして参加しやすいので、結果、障害者の所得が現状から

倍増化していきます。

#### 4. おわりに

特別支援学校の卒業者の大半(7割以上)は18歳時点で個人が社会に向き合うことを求められます。そこに働く選択肢として時給(全国平均)150円の社会就労施設、そうでなければ一般障害者枠就労(神奈川県最低賃金:1,011円)の進む先が見えてくるのが現状です。当事者はもちろん、支援者側としても振り幅や選択肢を創出しづらいと感じる現実が目の前にあるように思います。

この事業プロジェクトを通じて、激動の社会に障害者を合わせていくのではなく、社会を彼ら障害者へ合わせていく活動を目指したいと考えております。ともに成長発展する地域共生社会を実現させたいと思います。

以上。